

平成18年度 事務事業評価表

所属 05120000
地域振興部 産業経済課

事務事業	155102 葛飾納涼花火大会(区・協会共催事業)						
	事業区分	経常事業	施策体系	1551	観光イベント・PR		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	区民及び区外観客者 観客数 平成16年度約37万人						
事務事業意図	花火大会の開催を通して、区民の地域への関心や愛着が深まっている。区内外に対し葛飾区の魅力が発信され、多くの訪問者で賑わっている。						
事務事業手段	「昭和48年度開始」7月下旬の火曜日に、柴又の江戸川河川敷において、葛飾区・(財)葛飾区地域振興協会・葛飾区観光協会の3者の主催で、実行委員会を組織し花火大会を実施する。 【概要】アトラクションに続き、1時間程度の花火の打ち上げを実施。内容は、打ち上げ花火・スターマイン約6,900発、仕掛け花火など。						
根拠法令	なし						
現状と課題	23区内で一番早く開催される花火大会として広く定着しており、区内外から多くの観客を集めている。また、平成17年度から有料指定席の導入による協賛者数の確保に取り組んでいるところである。課題としては、一時的に非常に多くの観客を集めることから、観客に対する万全の安全確保が課題である。						
成果・活動指標	成果：観客者数 目標：370,000人 活動：打ち上げ花火数 目標：6,900発						
目標達成状況	成果指標1 [人]	予定	370,000.00	370,000.00			
		実績	300,000.00				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	活動指標1 [個]	予定	6,900.00	6,900.00			
		実績	7,000.00				
		単位コスト	7.08				
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定		50,758				
	実績	49,593					
総合評価	継続。39回を数える事業であり、多くの区民が楽しみにしている観光レクリエーション事業であるため、実施主体や運営方法の適正化を図りながら継続していく。						
事業評価	事業の必要性	はい。区の重要な観光事業として定着しており、区内外からの来訪者が多いことから、観光振興に効果がある。					
	民間活用	実施済。区・(財)葛飾区地域振興協会・葛飾区観光協会の3者の主催で、実行委員会を組織して実施している。					
	成果向上余地	はい。打ち上げ花火の質や量を向上させるとともに、PRや大会運営などを工夫することにより、効果向上が期待できる。					
	経費削減余地	はい。協賛金の確保を図ることにより収入を増やすことで、全体のコストを下げる余地がある。					

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

事務事業 155102

地域振興部 産業経済課

葛飾納涼花火大会（区・協会共催事業）

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		49,138		
	直接費	事業費	(6)		33,478		
	職員人件費	人件費	(7)		15,660		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		1.80		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		1.80		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		1,620		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)		(18)		1,620		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)		(19)		50,758		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	47,973			
	直接費	事業費	(25)	33,033			
	職員人件費	人件費	(26)	14,940			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	1.80			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	1.80			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	1,620			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)		(37)	1,620			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)		(38)	49,593			

平成18年度 事務事業評価表

所属 05120000
地域振興部 産業経済課

事務事業	155103 子どもつり大会(区・協会共催事業)						
	事業区分	経常事業	施策体系	1551	観光イベント・PR		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	中学生以下の児童及び一般区民 平成17年 53,780人(0~14歳人口)						
事務事業意図	参加者が正しい釣りのマナーを覚え、釣り場の環境美化の意識を持ちながら釣りを楽しんでいる。						
事務事業手段	「昭和30年度開始」都立水元公園小合溜において、中学生以下を対象とした子ども釣り大会を毎年1回、葛飾区子どもまつりと同時に開催する。 【概要】主催：葛飾区・(財)葛飾区地域振興協会・葛飾区釣友連盟・葛飾区観光協会 参加費：無料。貸竿：約250本。景品：釣りマナー講習会を受講した者に抽選で記念品を配布。						
根拠法令	なし						
現状と課題	葛飾子どもまつりと同時開催で、都立水元公園の小合溜において中学生以下の児童・生徒を対象につり大会を実施している。しかし、年々小合溜の魚影が薄くなってきていること、運営に協力をいただいている葛飾釣友連盟の役員も高齢化してきており事業への協力が負担となってきている。また、観光振興への効果が期待できない。						
成果・活動指標	成果：子どもつり大会の参加者数 目標：1,220人 活動：子どもつり大会の参加者数 目標：1,220人						
目標達成状況	成果指標1 [人]	予定	1,220.00	1,220.00			
		実績	1,028.00				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	活動指標1 [人]	予定	1,220.00	1,220.00			
		実績	1,028.00				
		単位コスト	1.18				
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定		1,289				
	実績	1,213	0				
総合評価	継続。観光振興としては効果が薄い、レクリエーションを通じての自然環境保全や子どもの健全育成の観点からは、継続する意義はある。						
事業評価	事業の必要性	どちらとも言えない。観光振興への効果が期待できない。					
	民間活用	実施済。葛飾区釣友連盟・葛飾区観光協会と共催している。					
	成果向上余地	いいえ。観光振興が目的とすると、本事業によって効果を上げる余地はない。					
	経費削減余地	いいえ。会場設営費(テント設営)が主な支出であるため、コストを下げる余地はない。					

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

事務事業 155103

地域振興部 産業経済課

子どもつり大会(区・協会共催事業)

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位:千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		1,199		
	直接費	事業費	(6)		329		
	職員人件費	人件費	(7)		870		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.10		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.10		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		90		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		90			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		1,289			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0		
		都道府県支出金	(21)	0	0		
		地方債	(22)	0	0		
		その他	(23)	0	0		
		一般財源	(24)	1,123	0		
	直接費	事業費	(25)	293	0		
	職員人件費	人件費	(26)	830			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.10			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.10			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	90			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	90				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,213	0			

平成18年度 事務事業評価表

所属 05120000

地域振興部 産業経済課

事務事業	155104 葛飾菖蒲まつり（協会事業）						
	事業区分	経常事業	施策体系	1551	観光イベント・PR		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	区民及び都内他府県から期間中に葛飾区を訪れる観光客 観客数：16年度・385,833人						
事務事業意図	葛飾区の花「花しょうぶ」に因んだ祭りを通して、区民の地域への関心や愛着が深まっている。区内外に対し葛飾区の魅力が発信され、多くの訪問者で賑わっている。						
事務事業手段	「昭和53年度開始」堀切菖蒲園及び水元公園を中心に、6月の月上旬から約20日間にわたるイベント等を実施する「葛飾菖蒲まつり」を支援する。 【堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会】構成団体：観光協会堀切支部、堀切自治町会連合会、堀切地域各商店街、青少年育成堀切地区委員会。 【水元公園葛飾菖蒲まつり実行委員会】構成団体：観光協会水元支部、水元自治町会連合会、水元・金町地域各商店街、青少年育成水元地区委員会						
根拠法令	なし						
現状と課題	葛飾の菖蒲まつりは、夏の風物詩として定着してきているが、景気の低迷により、企業や個人会員・観光協会・商店街等からの協賛金の協力が難しくなっていることや、民間主導の実行委員会運営について、役員や従事者の高齢化などから協力者が減少してきているなど、運営方法を工夫する必要がある。						
成果・活動指標	成果：参加者数 目標：400,000人 活動：延べ開催日数 目標：40日						
目標達成状況	成果指標1 [人]	予定	400,000.00	400,000.00			
		実績	470,000.00				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	活動指標1 [日]	予定	40.00	40.00			
		実績	40.00				
		単位数	326.10				
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位数					
トータルコスト (千円)	予定		14,096				
	実績	13,044					
総合評価	継続。区の花を冠した菖蒲まつりは、葛飾区の代表的な観光レクリエーション事業であり、民間の自主的運営に対して、一定の支援を行うことは観光振興によるまちの賑いに欠かせないものである。						
事業評価	事業の必要性	はい。民間主体の実行委員会による実施事業に対し、観光振興の観点から支援する必要がある。					
	民間活用	実施済。観光協会の各支部で構成される実行委員会および運営協議会が実施している。					
	成果向上余地	どちらとも言えない。菖蒲の花の生育や開花状況により来訪者数に変動がでる。多くの区民や観光客が毎年、花しょうぶを鑑賞できるように菖蒲の育成環境を整えていくことが重要であり、イベント等での集客による効果は期待できない。					
	経費削減余地	いいえ。年々委託料を削減してきており、これ以上削減するのは困難である。					

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

事務事業 155104

地域振興部 産業経済課

葛飾菖蒲まつり（協会事業）

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		13,916		
	直接費	事業費	(6)		12,176		
	職員人件費	人件費	(7)		1,740		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.20		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.20		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		180		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			180		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			14,096		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	12,954			
	直接費	事業費	(25)	12,124			
	職員人件費	人件費	(26)	830			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.10			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.10			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	90			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	90				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	13,044				

平成18年度 事務事業評価表

所属 05120000
地域振興部 産業経済課

事務事業	155106 観光イベント経費助成						
	事業区分	経常事業	施策体系	1551	観光イベント・PR		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	否	
	***		***		***		
対象	地域団体						
事務事業意図	区のイメージアップにつながるイベントを計画している地域団体が、イベント事業を数多く実施している。						
事務事業手段	<p>「平成3年度開始」区内観光地において実施するイベント事業に対し、費用の一部を助成する。</p> <p>【助成団体】葛飾区観光協会と当該地域住民によって組織された実行委員会</p> <p>【助成対象事業】区内の観光資源を核として、観光地のPR及び郷土意識の高揚を図ることを目的として実施するイベント事業</p> <p>【助成額】イベント事業対象経費の1/3又は限度額50万円のいずれか少ない額</p> <p>【平成17年度実績】第15回柴又さくらまつり 参加者数：5,000人</p>						
根拠法令	なし						
現状と課題	平成8年度から平成17年度まで、申請団体は1団体のみで変化はない。助成団体は1団体にとどまっているが、地域の活性化や郷土意識を向上を促進するため、さらに、区内各地で観光イベント事業を展開するよう働きかける必要がある。						
成果・活動指標	成果：助成イベントの参加者数 目標：5,000人 活動：助成件数 目標：1件						
目標達成状況	成果指標1 [人]	予定	平成17年度	平成18年度			
		実績	5,000.00	5,000.00			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	活動指標1 [件]	予定	1.00	1.00			
		実績	1.00				
		単位コスト	1,370.00				
	活動指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定		1,410				
	実績	1,370					
総合評価	継続。観光資源を生かしたイベントは、区のイメージアップと地域の活性化につながるため、継続して支援する必要がある。						
事業評価	事業の必要性	はい。観光資源を生かしたイベントは、地域の活性化につながるため、区が支援する必要がある。					
	民間活用	実施困難。審査を経ての助成金支出のため。					
	成果向上余地	はい。多くの地域で区民が観光資源を生かした自主的なイベントを行えば、より効果を挙げることができる。					
	経費削減余地	いいえ。平成14年度に補助対象経費の3分の1の助成に見直しており、削減は困難である。					

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

事務事業 155106

地域振興部 産業経済課

観光イベント経費助成

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		1,320		
	直接費	事業費	(6)		450		
	職員人件費	人件費	(7)		870		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		0.10		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.10		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		90		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		90			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		1,410			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	1,280			
	直接費	事業費	(25)	450			
	職員人件費	人件費	(26)	830			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.10			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.10			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	90			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	90				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,370				